

平成23年度における「がん対策」に関する具体的な事業一覧

都道府県名 北海道

(1) 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(3) がん登録の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん登録評価事業	地域がん登録を実施 ・ 北海道がんセンターに委託 ・ 標準DBSを使用	無	千円 11,550	千円 11,550	委託先

(4) がん予防・早期発見の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん検診受診促進企業連携事業	企業と連携して、がんに関する正しい知識及び検診の必要性についての情報提供等を実施	有 [がん検診受診促進企業連携事業 (厚生労働省健康局)]	千円 6,097	千円 0	北海道
生活習慣病管理指導協議会	健康増進事業による健康診査や各がん検診では精度管理が重要であることから、その実施状況を把握・評価し専門的な見地から適切な指導を行う	無	475	360	
生活習慣病管理指導講習会	検診従事者の資質の向上を図るための講習会を開催	無	97	97	
たばこ対策促進事業	喫煙防止の普及啓発、未成年者喫煙対策、禁煙相談・禁煙支援	有 [健康的な生活習慣づくり重点化事業 (厚生労働省健康局)]	2,816	2,117	

(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(6) がん医療水準均てん化の促進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん診療連携拠点病院機能強化事業	地域におけるがん診療連携の円滑な推進を図るため、各がん診療連携拠点病院に対し、補助を実施	有[がん診療連携拠点病院機能強化事業(厚生労働省健康局)]	千円 118,000	千円 118,000	補助先

(7) がんに関する研究の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(8) その他

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額 千円	23年度予算額 千円	実施主体
「がん対策」予算合計			139,035	132,124	

(自由記載)

都道府県における取組の詳細について

都道府県名 北海道

予算額だけでは見えてこない各都道府県独自の特色ある取組の内容を、ご自由にご記載ください。

○北海道がん征圧・がん検診受診促進月間

がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現に資するため、道、医療機関、検診機関、関係団体、企業等が多数の道民の参加の下、がん征圧及びがん検診の受診促進に向けた取組を全道で展開し、北海道全体でがん対策に取り組む機運の向上を図るために平成22年度より実施。期間中に全道で実施される事業を道のホームページで紹介する他、下記の事業等を主催する。

(1) がん予防道民大会

北海道対がん協会及び開催地市町村と連携し、がん予防の功労者表彰や講演などを通じて、がん予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る。若年世代からの教育の観点から、開催地の高校生も参加。毎年開催。

(2) がんと闘う医療フェスタ

都道府県がん診療連携拠点病院である北海道がんセンターとの共催により、来場者が、がんに関する正しい知識を得られるよう、パネル展示のほか、がんに関するクイズや、内視鏡手術のデモ、各診療科による体験型コーナーや、相談などの催しを行う。毎年開催。

(3) 大腸トンネル探検隊

NPO法人ブレイブサークル運営委員会との共催により、がんの罹患数が増加してくる40代の働き盛り世代に対する効果的な大腸がん検診受診促進に係る普及啓発イベント。子ども向けアトラクションを通じ、休日の商業施設で、家族が楽しみながら、がんに関する知識や検診の大切さを学ぶ。

○「がん患者の就労とお金の問題」フォーラムの開催 (H22.10.31)

道内のがん患者団体、道、北海道がんセンター(都道府県拠点病院)で構成する実行委員会の主催、道とがん対策の推進に関する連携協定

を締結する保険会社等の協賛により、フォーラムを開催。

○北海道の緩和ケアの実態に関するアンケート調査の実施（H22年度）

21の二次医療圏のうち拠点病院の整備が9圏域にとどまっている北海道において、今後の緩和ケアのあり方を検討する基礎資料とするため、NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部と連携し、道内の緩和ケア病棟、拠点病院の緩和ケアチーム、在宅療養支援診療所及び訪問看護ステーションを対象に、「北海道の緩和ケアの実態に関するアンケート調査」を実施。

○子宮頸がん検診モデル事業の提案・検討（H23年度）

多数の市町村が広域に点在し、かつ、婦人科医が都市部に集中偏在する北海道の現状を踏まえ、道内の検診機関と連携し、標準的な子宮頸がん検診とは異なるHPV検査の導入による子宮頸がんハイリスク群のスクリーニング効果を検証するための調査研究事業を提案・検討。